

第3回 日本漢字能力検定 試験問題

氏名

[不許複製]

6級 (G)

答えには、「常用漢字表」にある漢字の字体、読みを使うこと。旧字体を使ってはいけない。

答えは別紙(答案用紙)に書くこと。

(一) 次の——線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(20 1×20)

- 見わたす限りすいせん畑が広がる。
- 県と県の境に高い山が連なる。
- 姉が毛糸でマフラーを編んでいる。
- 地しんのゆれを広い地域で観測した。
- 特技のダンスを友人に見てもらう。
- 大型のトラックが高速道路を走る。
- ももの節句の由来について話を聞く。
- 選手が額を集めて作戦を練る。
- 算数の応用問題に取り組む。
- チャイムが鳴って授業が始まる。
- マラソンの世界記録が破られた。
- 湖に飛来する野鳥の生態を調べる。
- 本堂の仏様に手を合わせる。
- 日本は衣類のほとんどを輸入している。
- とどいた年賀状を整理する。
- 個性的な色づかいの絵画を見た。
- イギリスの大学で英文学を修める。
- 駅前に自転車を貸す店ができた。
- 災害からの復興計画を立てる。
- 情けは人のためならず

(二) 次の——線のカタカナを○の中の漢字と送りがな(ひらがな)で書きなさい。(10 2×5)

〈例〉投ボールをナゲル。

投げる

1 喜願いがかなってヨロコブ。

2 貧マズシイ中で勉学にはげむ。

3 率指揮者がオーケストラをヒキイル。

4 再雨がフタタビ強くなった。

5 確明日の学習予定をタシカメル。

(三) 次の漢字の部首名と部首を書きなさい。部首名は、後の□から選んで記号で答えなさい。(10 1×10)

〈例〉花・茶 (ア) (ヤ)

造・適 (1) (2)

務・効 (3) (4)

制・別 (5) (6)

査・条 (7) (8)

財・貯 (9) (10)

ア くさかんむり イ えんによう
ウ おおがい エ りつとう
オ ちから カ のぶん
キ りっしんべん ク かいへん
ケ しんによう コ き

(四) 次の漢字の太い画のところは筆順の何画目か、また総画数は何画か、算用数字(1、2、3…)で答えなさい。(10 1×10)

〈例〉投

何画目 総画数
(5) (7)

余 (1) (2)

河 (3) (4)

備 (5) (6)

墓 (7) (8)

断 (9) (10)

(五) 漢字を二字組み合わせたじゆく語では、二つの漢字の間に意味の上で、次のような関係があります。(20 2×10)

ア 反対や対になる意味の字を組み合わせたもの。(例:上下)

イ 同じような意味の字を組み合わせたもの。(例:森林)

ウ 上の字が下の字の意味を説明(修飾)しているもの。(例:海水)

エ 下の字から上の字へ返って読むと意味がよくわかるもの。(例:消火)

次のじゆく語は、右のア～エのどれにあたるか、記号で答えなさい。

- | | |
|------|-------|
| 1 移動 | 6 勝負 |
| 2 防寒 | 7 採光 |
| 3 夫妻 | 8 常温 |
| 4 旧式 | 9 損失 |
| 5 永久 | 10 快晴 |

6級 (G)

(六) 次のカタカナを漢字になおし、一字だけ書きなさい。

- 1 美ジュツ館
- 2 大事コ
- 3 平キン化
- 4 無許力
- 5 リク海空
- 6 綿オリ物
- 7 セイ神的
- 8 未カイ決
- 9 高性ノウ
- 10 セキ任感

(七) 後の□の中のひらがなを漢字になおして、対義語(意味が反対や対になることば)と、類義語(意味がよく似たことば)を書きなさい。

□の中のひらがなは一度だけ使
い、漢字一字を書きなさい。

対義語

- 増量――(1)量
- 個人――(2)体
- 合唱――(3)唱
- 子孫――(4)先
- 順風――(5)風

類義語

- 不在――(6)守
- 着目――着(7)
- 刊行――出(8)
- 指図――指(9)
- 家屋――住(10)

がん・きよ・じ・ぱん・る

(20)
2×10

(八)

上の読みの漢字を□の中から選
び、(一)にあてはめてじゅく語を
作りなさい。
答えは記号で書きなさい。

テイ	(1)出・音(2) (3)電
コウ	健(4)・(5)石 農(6)

(12)
2×6

(九)

漢字の読みには音と訓があります。
次のじゅく語の読みは□の中の
どの組み合わせになっていますか。
ア、エの記号で答えなさい。

ア 耕	イ 講	ウ 鉦	エ 低
オ 提	カ 停	キ 港	ク 康
ケ 庭	コ 底	サ 程	シ 航

(20)
2×10

- ア 音と音
- イ 音と訓
- ウ 訓と訓
- エ 訓と音

- 1 先^{せん}手^て
- 2 桜^{さくら}貝^{がい}
- 3 夕^{ゆう}飯^{はん}
- 4 要^{よう}領^{りやう}
- 5 枝^{えだ}道^{みち}
- 6 招^{しょう}待^{たい}
- 7 布^{ぬの}製^{せい}
- 8 金^{きん}色^{いろ}
- 9 木^{もく}造^{ぞう}
- 10 粉^{こな}雪^{ゆき}

(十) 次の――線のカタカナを漢字にな
おしなさい。

(18)
2×9

- 1 父は食品会社を経**エイ**している。
- 2 人**エイ**星から気象データがとどく。
- 3 昨年の夏は**アツ**い日が続いた。
- 4 寒いので**アツ**手のコートを着た。
- 5 足がしびれて感**カク**がなくなる。
- 6 兄は志望校に合**カク**した。
- 7 病院に車いすを**キ**付する。
- 8 水泳教室で泳ぎ方の**キ**本を習う。
- 9 **キ**則正しい生活を心がける。

(土) 次の――線のカタカナを漢字にな
おしなさい。

(40)
2×20

- 1 いろりの火が静かに**モ**えている。
- 2 工事中は立ち入りが**キン**シになる。
- 3 わが家はいつも笑いが**タ**えない。
- 4 駅の構内に案内所を**モウ**ける。
- 5 **シイク**係がうさぎの世話をする。
- 6 里山に残る自然を**ホゴ**する。
- 7 金や**ドウ**は熱を通しやすい金属だ。
- 8 すじ道を立てて自分の意見を**ノ**べる。
- 9 登山家が**ケワ**しい岩場を登る。
- 10 学校の花だんに**ヒリョウ**を入れる。
- 11 日本の国土は海に**カコ**まれている。
- 12 新商品を開発して**リエキ**を得た。
- 13 オペラ歌手が**ユタ**かな声量で歌う。
- 14 例年に**クラ**べて雪がよくふった。
- 15 **セイケツ**なタオルで顔をふく。
- 16 北海道の海岸に流水が**セッキン**する。
- 17 試合前に**ハリ**つめた空気が流れる。
- 18 休日の遊園地は**コンザツ**していた。
- 19 学芸会の劇で王様の役を**エン**じる。
- 20 薬も過ぎれば**ドク**となる